

平成26年度 第2回国営事業評価技術検討会

事後評価現地調査概要

平成26年7月8日

北海道開発局 農業水産部

平成 26 年度 事後評価「いしかり地区」国営事業評価技術検討会

現地調査概要

日 時：平成 26 年 6 月 10 日（火） 12:55～14:20

出席者：（技術検討会）長澤委員長、岡村委員、紺野委員、中原委員、森委員

（地元関係団体等）石狩市、当別町、石狩土地改良区、石狩市農業協同組合、北石狩農業協同組合、農業者

事務局：北海道開発局

概 要：

【現 地】

○整備箇所（北生振揚水機、いしかり調整池、北 6 号排水路）の現地を確認

【意見交換会】

○委員から、事業に対する効果、要望、期待等に関する質問があり、参加団体から以下のような回答や意見、状況説明等があった。

- ・以前は、石狩川の塩分濃度上昇により塩害を受けていたため、塩分濃度が上昇すると取水停止となった。現在は、取水停止となってもいしかり調整池の用水を活用することで、安心して稲作ができる。
- ・揚水機場の更新により、維持管理費が軽減した。
- ・2011 年 9 月の大雨時に、一時避難として、いしかり調整池に水を送る準備をしたことがある。地域の防災にも役立っている。

以上

平成 26 年度 事後評価「別海地区」国営事業評価技術検討会

現地調査概要

日 時：平成 26 年 5 月 27 日（火） 13:00～14:15

出席者：（技術検討会）長澤委員長、岡村委員、中原委員、波多野委員、森委員

（地元関係団体等）別海町、道東あさひ農業協同組合、農業者

事務局：北海道開発局

概 要：

【現 地】

○整備箇所（肥培かんがい施設、排水路）、TMRセンターの現地を確認

【意見交換会】

○委員から、事業に対する効果、要望、期待等に関する質問があり、参加団体から以下のような回答や意見、状況説明等があった。

- ・肥培かんがいをを行うことにより牧草の収量が増加し、化学肥料の使用量が減少した。
- ・本事業により河川水質の悪化防止に役立っていると思われる。魚や鳥を見かけるようになり、自然環境が戻ってきていると実感する。
- ・スラリー化したふん尿は臭気が軽減されるため、完全腐熟してから散布することを指導している。
- ・土砂緩止林は鹿による食害等によって枯れている場所があり、今後、植林方法等について継続的に検討する必要がある。

以上

平成 26 年度 事後評価「芽室地区」国営事業評価技術検討会

現地調査概要

日 時：平成 26 年 5 月 28 日（水） 10:50～12:00

出席者：（技術検討会）長澤委員長、岡村委員、中原委員、波多野委員、森委員

（地元関係団体等）芽室町、芽室町農業協同組合、農業者

事務局：北海道開発局

概 要：

【現 地】

○整備箇所（美生ダム、美生排水路、畑かん受益農家地先）の現地を確認

【意見交換会】

○委員から、事業に対する効果、要望、期待等に関する質問があり、参加団体から以下のような回答や意見、状況説明等があった。

- ・ 土壌水分量のコントロールを学ぶことで品質向上、収量増加に効果を発揮している。
- ・ 従来は作物の品質にばらつきがあったが、本事業による用排水整備のほか、道営畑地帯総合土地改良事業による暗渠・客土等の整備も相俟って、作物の品質が均一にできるようになった。
- ・ 散水機、幹線水路の老朽化に伴う補修費や美生ダムの機器更新にかかる費用負担を懸念している。

以上

平成 26 年度 事後評価「天塩平原・雄信内地区」国営事業評価技術検討会

現地調査概要

日 時：平成 26 年 6 月 3 日（火） 16:00～17:20

出席者：（技術検討会）長澤委員長、岡村委員、中原委員、森委員

（地元関係団体等）天塩町、天塩町農業協同組合、農業者

事務局：北海道開発局

概 要：

【現 地】

○整備箇所（取水施設、雄信内貯水池、肥培かんがい施設）の現地を確認

【意見交換会】

○委員から、事業に対する効果、要望、期待等に関する質問があり、参加団体から以下のような回答や意見、状況説明等があった。

- ・肥培かんがいを行うことで3番草まで安定した収穫が可能となった。
- ・スラリー化したふん尿は臭いが軽減されるので、生活環境が改善した。
- ・取水施設は通常年2回（春・秋）に雑木や土砂除去等の作業や、埋設管渠の目詰まりを防ぐための作業を行っている。
- ・牧草の収量が増加したことから、地区内での利用のほか、他地域に販売している。

以上

平成 26 年度 事後評価「石狩川愛別地区」国営事業評価技術検討会

現地調査概要

日 時：平成 26 年 6 月 11 日（水） 14:45～16:00

出席者：（技術検討会）長澤委員長、岡村委員、紺野委員、中原委員、森委員

（地元関係団体等）旭川市、愛別町、比布町、鷹栖町、大雪土地改良区、
たいせつ農業協同組合、上川中央農業協同組合、農業者

事務局：北海道開発局

概 要：

【現 地】

○整備箇所（石狩川愛別頭首工）、洪水被害想定地域のほ場の現地を確認

【意見交換会】

○委員から、事業に対する効果、要望、期待等に関する質問があり、参加団体から以下のような回答や意見、状況説明等があった。

- ・洪水被害が想定されていた地域で、洪水被害の懸念が解消され安心して営農できる。
- ・魚道の整備により、魚が上流に移動するようになった。
- ・頭首工の更新により、維持管理労力が軽減した。
- ・取水施設の安全性が確保されたことで、用水が安定供給され、水稻生産が維持されている。

以上